

## 6 軒天

### 6-4 その他

#### 換気必要面積の算定 軒裏換気・小屋換気(住宅金融支援機構仕様書より抜粋)

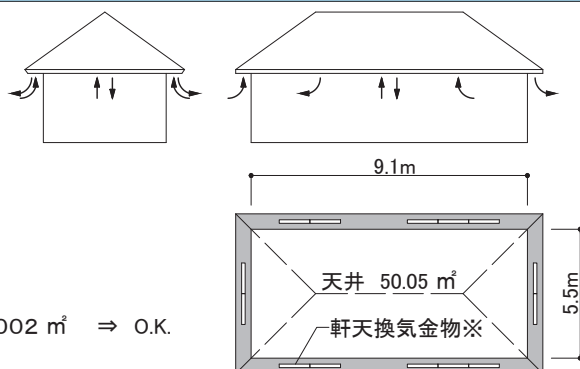
##### ●小屋裏換気基準(口)の場合

軒裏に換気口(吸排気両用)を設ける場合は、  
換気口の面積の合計を天井面積の  $1/250$  以上とする。

例)天井面積が $50.05\text{m}^2$ の場合の有効換気面積  
 $50.05\text{m}^2 \times 1/250 = 0.2002\text{m}^2$ 以上

右図のように軒裏換気口を配置した場合の  
それぞれの換気量は

軒天換気金物14ヶ所  $\times 0.0148\text{m}^2 = 0.2072\text{m}^2 > 0.2002\text{m}^2 \Rightarrow \text{O.K.}$



##### ●小屋裏換気基準(木)の場合

軒裏に吸気口を設け、かつ、  
棟部に排気口を設ける場合は、  
吸気口の面積を天井面積の  $1/900$  以上とし、  
排気口の面積を天井面積の  $1/1600$  以上とする。

例)天井面積が $50.05\text{m}^2$ の場合の有効換気面積

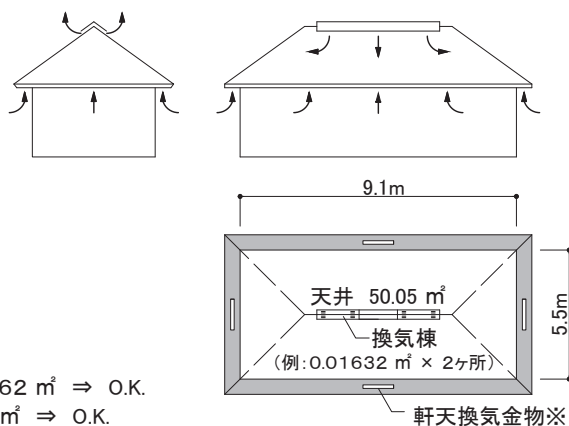
吸気口  $50.05\text{m}^2 \times 1/900 = 0.05562\text{m}^2$ 以上

排気口  $50.05\text{m}^2 \times 1/1600 = 0.03129\text{m}^2$ 以上

右図のように軒裏換気口・換気棟を配置した場合の  
それぞれの換気量は

軒天換気金物4ヶ所  $\times 0.0148\text{m}^2 = 0.0592\text{m}^2 > 0.05562\text{m}^2 \Rightarrow \text{O.K.}$

換気棟2ヶ所  $\times 0.01632\text{m}^2 = 0.03264\text{m}^2 > 0.03129\text{m}^2 \Rightarrow \text{O.K.}$



※延焼のおそれのある部分など、必要な場合は防耐火認定仕様の換気部材をご使用ください。



#### 軒天施工上の注意

- 軒天の鉄骨下地への直貼りは禁止です。軒天12木目調のLGS天井下地への施工については、別冊のCOMMERCIAL WALLをご参照ください。
- フィニッシュネイルおよびタッカーでの施工は行わないでください。
- 軒天の切断部が露出する場合は、補修液にて処理してください。シーリングを補修液の代わりに使用すると、シーリング補修部分が白く変色します。補修には絶対に使用しないでください。
- やむを得ず、軒天の表面にマスキングテープを貼る場合は、弊社推奨のマスキングテープをご使用ください。(付着力の強いマスキングテープは使用しないでください。)
- マスキングテープは1日以上貼り置きしないでください。また、マスキングテープは勢いよく引き剥がさないでください。
- 有孔板は雪が吹き込む箇所には使用しないでください。